

# 謝ることの大切さ

山口県 仁平寺住職 田中 大道

今朝は謝ることの大切さというお話です。

私は何事であれ、すぐに謝る事にしています。特に妻と喧嘩になりそうな時などは自説を引っ込めて瞬時に謝ることに決めています。とにかく謝る。この瞬時にというところが大切です。そして誠心誠意心を込めてただひたすら謝れるかどうか重要です。こんなことがありました。

私は一日のはじまりに新聞に目を通すことを楽しみにしています。ところがある朝その新聞が届かなかった事がありました。「休刊日でもないのに変だな」と思いながら新聞販売店に電話をしてみると、「お寺の裏木戸が閉っていたので配達できなかった」というのです。私はあらためて届けるのも大変だろうと思い「今日はいいですよ。」と言っておきました。

ところがその数分後に、配達員の若者が寺に来て本当に済まなそうに謝ったのです。もちろんこの場合の非はむこう側にあるのですが、私は何とも気の毒になり、苦情どころかお土産を渡して丁重に見送り、これからもこの新聞を取り続けようと思った次第です。

この時もしも彼がふてくされた顔で「済みませんでした」と言えばまた違った展開になっていたかもしれません。彼は誠心誠意謝罪することによって購読者を一人つなぎとめたわけです。

先に謝った者こそがその場を立ち上げルールを決定するという説もあります。瞬時にひたすら誠心誠意謝る事の大切さを実感しました。